

「全国痴呆症高齢者グループホーム研究交流フォーラム'98」 開催要綱
～ 今なぜグループホームなのか。その実践から明らかにし今後を展望する ～

1. 目 的

「地域のなかで、少人数の高齢者が、その人数に適した大き過ぎない建物で、家庭的な普通の生活をおくり、そのなかでスタッフは、高齢者一人一人に合った生活を支援する。併せて、家（自宅）で生活するために必要な支援も行う」こんなホームが、全国的に広がっている。

これらのホームは、痴呆症高齢者が、住み慣れた地域で可能な限り生活し続けていただくために、利用者のニーズにフィットしたサービスを提供する、地域福祉を主体とした在宅福祉サービスの拠点となっている。運営は、社会福祉法人のほか、未法人の住民参加型団体、営利法人など多様で、名称も「グループホーム」や「宅老所」「デイホーム」など、制度（自治体）や運営団体によって違いがある。

フォーラムでは、痴呆症高齢者の「生活の場」や「支援のあり方」を研究交流し、今後のホームの方向を展望するとともに、ホームを推進するための都道府県や全国でのゆるやかなネットワーク化を進めることを目的に開催する。

◆この「フォーラム」でいう「痴呆症高齢者グループホーム」とは、日帰り・滞在・居住を含む小規模ホーム（5～8人程度）を意味する。運営主体の法人の有無や営利非営利は問わない。

2. 日 時

1998年 2月28日（土） 13:00～
3月 1日（日） ～13:00

3. 会 場

「松島町中央公民館」

宮城県松島町磯崎字浜1-2 ☎ 022(353)3030

無料駐車場を用意しています。また2/28は、11:30～14:00 に限り、東北本線松島駅及び仙石線松島海岸駅から会場までの無料送迎もいたします。3/1終了後、両駅までの送迎もいたします。

4. 宿 泊

「ホテル杜観」

宮城県松島町磯崎字浜1-1 ☎ 022(354)2181

5. 主 催

「全国痴呆症高齢者グループホーム研究交流フォーラム'98」実行委員会

みやぎ宅老連絡会(1996.11.3発足)

宮城県・社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

福島県ケアホーム連絡会(1997.8.29発足)

栃木県高齢者デイホーム連絡会(1996.3.9発足)

愛知県下民間デイケア連絡協議会(仮称)(1997.11.21発足予定)

6. 後 援（申請予定）

厚生省・仙台市・松島町・全国社会福祉協議会・仙台市社会福祉協議会・松島町社会福祉協議会・鳴瀬町・鳴瀬町社会福祉協議会・矢本町・矢本町社会福祉協議会・宮城県共同募金会・呆け老人をかかえる家族の会・宮城県老人福祉施設協議会・宮城県デイサービスセンター協議会・河北新報社・朝日新聞社・読売新聞社・毎日新聞社・産経新聞社・日本経済新聞社・時事通信社・共同通信社・福祉新聞社・NHK・東北放送・仙台放送・ミヤギテレビ・東日本放送・FM仙台

7. 助 成

全労済「高齢社会問題活動・研究」助成

7. 協賛
関連企業各社

8. 内容（日程）

	時 間	内 容
2 月 28 日	12:00～13:00	受付開始
	13:00～13:30	開 会
	13:30～15:50	<p>パネルディスカッション「グループホームの実際」</p> <p>◆パネラー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宅老所よりあい（福岡市）代 表 下 村 恵美子 ●きのこエスポアル病院・炉端の家（岡山県笠岡市）代 表 佐々木 健 ●のぞみホーム（栃木県壬生町）代 表 奥 山 久美子 ●特別養護老人ホームシオンの園・妙見庵（福島県須賀川市）代 表 武 田 和 典 ●まりやの家（宮城県金成町）代 表 築 茂 三 郎 <p>◆コーディネーター 札幌大学経済学部 助教授 高 橋 誠 一 （みやぎ宅老連絡会・主任研究員）</p>
	16:10～17:30	<p>鼎談「グループホームの意義と期待される役割」</p> <p>厚生省大臣官房政策課 課長 辻 哲 夫 宮 城 県 知 事 浅 野 史 郎 み や ぎ 夢 大 使 大 熊 由 紀 子 （ジャーナリスト）</p>
	18:30～20:30	夕 食

〔自主参加プログラム〕

2 月 28 日	20:00～22:00	<p>実践報告「全国グループホーム巡り」</p> <p>◆主な話し手</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サンシティー八戸「軸の家」ザ・セカンド（青森県八戸市）代 表 澤 向 裕 子 ●宅老所やまがた・あべさん家（山形県山形市）代 表 阿 部 昭 典 ●デイセンターみさと（群馬県箕郷町）代 表 田 部 井 康 夫 ●ケア付福祉施設・元気な亀さん（埼玉県坂戸市）代 表 龍 本 信 吉 ●特別養護老人ホームアザレアンさなだ・大庭の家（長野県真田町）施設長 宮 嶋 渡 ●憩いの家まごの手（富山県黒部市）代 表 澤 井 茂 吉 ●とよはし生活リハビリクラブ・ヤモリクラブ（愛知県豊橋市）代 表 朝 倉 義 子 ●小規模多機能型老人ホーム・ことぶき園（島根県出雲市）代 表 槻 谷 和 夫 <p>◆聞き手 千 葉 宇 京（宮城県保健福祉部長寿社会政策課長） 秀 嶋 善 雄（仙台市健康福祉局高齢部高齢企画課長）</p>
	22:00～24:00	深夜までフリートーク

3 月 1 日	9:00~11:00	分散会「グループホームの実践課題と方向」 ※申込書に記入された課題を整理して、分散会のテーマを設定する。 ◆コーディネーター ●サンシティ八戸「軸の家」ザ・セカンド (青森県八戸市) 代表 澤 向 裕 子 ●宅老所やまがた・あべさん家(山形県山形市) 代表 阿 部 昭 典 ●デイセンターみさと(群馬県箕郷町) 代表 田部井 康 夫 ●ケア付福祉施設・元気な亀さん(埼玉県坂戸市) 代表 瀧 本 信 吉 ●特別養護老人ホームアザレア(長野県真田町) 施設長 大庭の 家 渡 ●想いの家まごの手(富山県黒部市) 代表 澤 井 茂 吉 ●とよはし生活リハビリクラブ・ヤモリクラブ (愛知県豊橋市) 代表 朝 倉 義 子 ●小規模多機能型老人ホーム・ことぶき園 (鳥根県出雲市) 代表 槻 谷 和 夫
	11:20~12:50	報告ディスカッション「グループホームの課題と展望」 ●報告者/各分科会コーディネーター 札幌大学経済学部 助教授 高 橋 誠 一 (みやぎ宅老連絡会・主任研究員)
	12:50~13:00	閉 会

9. 参加定員 400人

10. 参加費 4,000円
 宿泊費 12,000円

11. 参加申し込み

参加申し込みのしめきりは2月2日(月)としますが、定員を満たない場合は、その後も受け付けます。参加費は、申込書受理後に、郵便振替用紙をお送りいたしますので、期日までにお振り込みください。領収者には、当日の詳細をご案内する参加券を送付いたします。2月9日(月)以降に発送を予定しています。
 当日会場に全国のグループホームの資料コーナーを開設しますので、配布を希望される場合は、あらかじめ500部を下記事務局あてお送りください。

〔問い合わせ・申し込み先〕

「全国痴呆症高齢者グループホーム研究交流フォーラム'98」実行委員会事務局

みやぎ宅老連絡会内

宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘7-141-9

せんだんの杜/市民・ボランティア活動応援センター内

☎ 022(719)0588 FAX 022(277)3323

■お車で

東京—東北自動車道—仙台
約2時間
大和IC—約30分—松島(最短距離)
仙台南IC—約60分—松島
泉IC—約40分—松島

■電車で

東京—東北新幹線—仙台—東北本線—松島
2時間 約1時間20分
※東北本線松島駅、仙石線松島海岸駅、高城町駅
どちらからでも当館までは車で約5分です。



(きりとり線)

「全国痴呆症高齢者グループホーム研究交流フォーラム'98」参加申込書

氏名			性別	男・女
			宿泊の有無	有・無
所属	法人名		職名	
	施設・団体名			
所在地	☎ () / FAX ()			
連絡先	☎ () / FAX ()			
※2日目の分散会で討議したい課題などを、ご記入ください。記入内容を整理し、分散会のテーマを設定します。				
			受付日 / 年 月 日	